

## 要請番号 (JL50624B09)

募集終了



| 国名    | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次                       |
|-------|----------|------|------|----|------|----------------------------|
| エチオピア | F201 観光  |      | 個別   | 新規 | 2年   | ・ 2025/2 ・ 2025/3 ・ 2026/1 |

## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名 (日本語)

観光省

## 2) 配属機関名 (日本語)

観光省

## 3) 任地 (アディスアベバ) JICA事務所の所在地 (アディスアベバ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

## 4) 配属機関の規模・事業内容

エチオピアでは、2020年11月から続いた内戦が2022年11月に停戦合意に至ったのに伴い、社会経済活動の正常化が進んでいる。現在政府は経済の回復・発展に注力しており、観光業を最重要5分野の1つとして2025年までにエチオピアをアフリカの観光地トップ5に入れるビジョンを持っている。エチオピアにはアフリカ大陸で最多の11カ所の世界遺産が登録されており、観光業は雇用創出と民間セクターの活性化のための有望な産業と位置付けられ、2023年には観光省が文化観光省から独立する等、今後の発展が期待されている。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

同国は観光資源を多く有しているものの、整備が追いついておらず経済的な潜在力を最大限に発揮できていない状態である。そのため、観光客をターゲットとした観光商品の多様化、デジタル・マーケティング・ツールの活用強化、観光インフラの改善(交通網、宿泊施設、レジャー施設など)が必要と考えられている。観光業は、経済的な貧困の緩和、雇用創出、経済成長の効果的で包括的な手段であり、エチオピアの経済を取り戻すための重要な成長分野である。そこで、観光立国としての知見を有する日本からの技術支援及び観光資源のより有効な活用方法の助言等を目的に、隊員が要請された。なお、2023~2026年度まで観光振興アドバイザーとしてJICA専門家が派遣されている。

## 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

隊員には配属先同僚とともに、以下の活動が期待されている。

- 観光振興に関わる意思決定のための観光データの収集と把握。
- SNSやwebツール等を活用した広報・発信の事例紹介、情報分析と活用方法の支援。
- インバウンドマーケティングと観光コンテンツ開発に関するスタッフの育成等。

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

事務所、デスクトップパソコン、インターネット、文房具等

## 4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

スタッフ数7名(女性2名、男性5名)。年齢は、30代。

学歴は、大卒~大学院卒。実務経験は、8~15年程度。

活動対象者:

観光省スタッフ並びに国内外からの観光客。

## 5) 活動使用言語

英語

## 6) 生活使用言語

その他

## 7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

### 【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（専門学校卒） 備考：専門的な指導を行うため

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）5年以上 備考：実技指導をするため

[汎用経験]：

・観光開発・観光マーケティングの知識・経験

### 任地での乗物利用の必要性

不要

### 【地域概況】

[気候]：（温暖冬季少雨気候） 気温：（9～27℃位） [電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（安定）

### 【特記事項】

[観光省のホームページ](#)

活動は現地語(アムハラ語)が中心となる。アムハラ語については現地到着後、現地訓練にて学習。水道は安定しており、電気は毎日1時間程度停電。なお、同省からは2024年春募集で他職種(手工芸とコンピュータ技術)の募集も出ている。